

# 農村ジェンダー研究

## -農村女性起業を中心に-

### 農村社会・社会学特殊研究 第5話

秋津元輝(農学研究科)

# 最近の研究成果

- 永野由紀子『現代農村における「家」と女性』刀水書房、2005年
- 秋津・藤井・澁谷・大石・柏尾『農村ジェンダー』昭和堂、2007年
- 鶴理恵子『農家女性の社会学』コモンズ、2007年
- 原(福与)珠里『農村女性のパーソナルネットワーク』農林統計協会、2009年
- 渡辺めぐみ『農業労働とジェンダー』有信堂高文社、2009年
- 藤井和佐『農村女性の社会学』昭和堂、2011年

# ジェンダーとは

- ジェンダーの定義
  - 人間の社会や文化によって構成された性
- 非対称であること
  - 女性と男性という対を生み出すシステムの総体
  - この問題を克服するための用語
  - 政治性

# 農村女性の歴史

- ・ 家父長制
- ・ 女性も働くことが当たり前
  - 都市家族との違い
  - 単なる労働力として
- ・ 過重な労働
  - 農作業と家庭内の労働
- ・ 無視される権利

# 研究史①：農村女性の発見

- ・ 女性農業者の存在を知る
  - 見える存在に
- ・ 女性の農業・農外労働における状況を明らかにする
  - 農外就業など
- ・ 女性農業者の思考を知る
  - たとえば環境保全型農業について
- ・ Family farmというイデオロギー

# 研究史②：エンパワーメント

- ・ 農業関係組織における不平等
  - 日本における各種委員、役員
  - そもそもメンバーになれるかどうか
- ・ 政策における男性偏重
  - EUの例
- ・ 農村女性起業を通じたエンパワーメント
- ・ Feminism 農村女性研究
  - 研究と調査手法

## 研究史③：ジェンダー関係

- ・ 構築されたものとしてのジェンダー
  - 機関誌・広告などの分析
  - その再生産プロセス
- ・ 農村の男性性研究
  
- ・ セクシャリティ
  - 農村での偏り

# 農村女性起業と地域社会

- ・ 「犠牲者」か「救世主」か
  - 「救世主」とみるのは男性の主導者
- ・ エンパワーメントにつながるか
  - エンパワーメントとは何か
- ・ 地域社会とのつながり
  - 地域での発言力



表4-1 経営内容別にみた農村女性起業の変化

経営内容\年度	1993	1997	2000	2004	具体的な経営内容の例
農業生産	150 (12.0)	541 (13.4)	514 (8.3)	1,259 (14.5)	農作業受託、作目経営、酪農ヘルパー
食品加工	770 (61.4)	2,467 (61.1)	4,266 (68.6)	6,436 (74.3)	ジャム・漬物・麺類・和菓子・パンなどの製造
食品以外の加工	90 (7.2)	204 (5.0)	279 (4.5)	350 (4.0)	ハーブ、ドライフラワー、フラワーアレンジメント
販売・流通	463 (36.9)	1,398 (34.6)	2,811 (45.2)	3,981 (45.9)	朝市・直売市、宅配産直
都市との交流	76 (6.1)	168 (4.2)	479 (7.7)	955 (11.0)	体験・観光農園、農家民宿、農村レストラン
サービス事業	16 (1.3)	12 (0.3)	48 (0.8)	54 (0.6)	季節保育所、情報誌、弁当宅配、デイサービス
その他	14 (1.1)	18 (0.4)	20 (0.3)	39 (0.4)	
実総数	1,255 (100%)	4,040 (100%)	6,218 (100%)	8,667 (100%)	

注) 図4-1とともに、岩崎・宮城(2001)、11頁、および農水省女性・就農課(2003)、農林水産省ホームページ資料より作成。なお、経営内容に重複があるため、内容ごとの起業数の合計は実総数を上回っている。

# 女性がつくる社会関係

- ・ 女性起業グループの発展
  - 同年齢層の集団
- ・ 伝統的な女性集団とのつながり
- ・ 関係のひろがり
  - 「田舎のヒロイン」わくわくネットワーク、  
など
- ・ 組織は続くか

# グループから個人経営へ

経営数

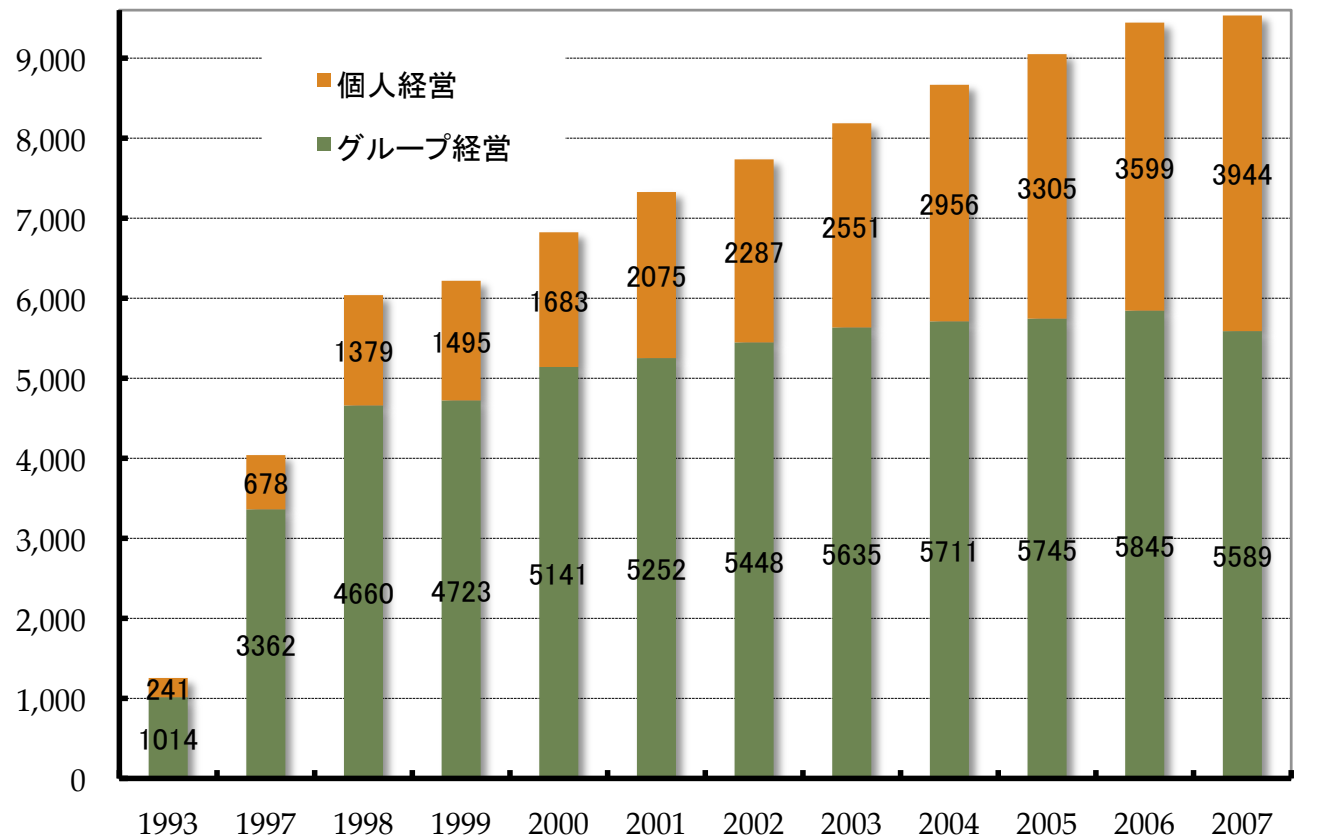


図 経営形態別の農村女性起業数の変化

年度

# グループ起業継続の課題

- 1970年代以降の女性の農業離れ
- 新しい従業員を迎え入れる余裕がなかったこと
- 新メンバーの受け入れの難しさ



高齢化・グループ解散へ

# 農村女性起業の具体例

- ・ 女性だけによる株式会社
- ・ 従業員の構成
  - 生改グループ2（集落内） 6人（当初7人で1人死亡）全員継続
  - 60歳代：6人、50歳代：4人、40歳代：6人、30歳代：6人
- ・ 従業員の愛着の違いに注目

# 直接的な場所とのつながり

- ・ 男性が独占する役員
- ・ 男性のみによる芸能
  - 県重要無形文化財に指定
- ・ 男性における場所との直接的つながり

# 「犠牲者」と「救世主」

- ・ 地域資源の意思決定からの排除
  - 「犠牲者」
- ・ 地域をこえた活動
  - ネットワーク的広がり
  - 「救世主」